

令和4年度 第一学童クラブ ぽーしゃな事業報告書

1. 学童クラブの運営

1) 定員 40名(1・4年生)

2) 月別入所児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・4年生	28	28	25	25	23	20	21	20	20	19	19	20	268

3) 職員数

令和4年度初 4名

令和4年度末 4名

4) 職員の採用、退職

① 採用

氏名	年月日	資格	備考
	R4.4.1	無	補助員

5) 職員会議の開催状況

- 職員会議は毎月一回開催し、日常の保育の様子や気づいた事・伝達事項・行事計画等について話し合い、評価、反省をし見直しを心掛けた。更に会議録を作成した。
- 毎日の伝達は口頭の申し送りや指導員連絡ノートを活用し、職員全員で情報を共有した。

6) 自己評価表 別紙

2. クラブの学童保育の実施状況

1) 指導目標

家庭との連携を図りつつ、放課後及び長期休暇期間における、児童の勉強及び遊びを通して、健全な育成を目指した。

2) 学童保育時間

平日	14:00(下校迎え時間)～18:00	(ルンビニ保育園下車の方は19:00まで)
土曜日	8:00～18:00	(ルンビニ保育園下車の方は19:00まで)
長期休暇期間	8:00～18:00	(ルンビニ保育園下車の方は19:00まで)
早朝	7:30～8:00	(ルンビニ保育園、事前申し込みが必要)
延長時間	18:00～18:30	(ぽーしゃなにて)
	19:00～21:00	(ルンビニにて)

3) 学童保育内容

- 毎日の宿題・家庭学習の指導を行い、勉強の習慣づけを心掛け、宿題を終わらせてからおやつを食べるように声掛けをした。
- 年間22回のECC英語教室と、年間9回のいむら体育教室を実施した。

- 「なかよし」通信を毎月発行、ホームページを随時更新し、児童の現状と学童の活動内容を保護者に周知した。
- 遊びや日々の生活を通して、集団生活に必要なルールを学び、安定した人間関係を作る事ができるように支援した。
- グラウンドやバスハイクで公園に出かけ、伸び伸びと体を動かして遊ぶことが出来た。
- 学校までの迎えやルンビニ保育園までの送迎はバスを利用し、その際には挨拶や、乗車のルールを守るよう指導した。
- 熱中症予防対策の為「健康カード」に朝食内容の記入欄を設け児童の健康状態を確認し、暑さ指数(WBGT)が28度を越えた場合は、屋外活動を控えた。
- 食育の一環として、さつま芋と大根を栽培し、収穫の喜びを体験することができた。

4) 実施した主な行事 別紙

3. 給食等の実施状況

- 偏った献立にならないよう、川棚給食センターに依頼した。
- アレルギー体質の児童は、家庭との連絡を密にした。
- おやつは、スナック菓子に偏らないようにし、プリン・ゼリー等も取り入れた。
- 衛生面からテーブルの消毒を行い、手洗いをした。

4. 健康管理

- 指導員全員の定期健康診断を、5月に実施した。
- 指導員全員の検便を月1回専門業者に依頼し「赤痢菌、サルモネラ菌、O-157」の検査を実施した。
- 子ども達の、帰着後の手洗い・消毒の指導をした。

5. 感染症等の対策

- 職員、保護者、児童のマスク着用を徹底した。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学習・給食・おやつ時はテーブルの間隔を空け、席を決めて座席表を作成した。
- 食事・おやつの際は黙食を行うように指導した。
- 玩具・テーブル・椅子・手すり等を、定期的にクロール水で消毒した。
- 児童が施設内に入る前や、バスに乗車する際に手指の消毒を行い降車後は車内を除菌シートで拭き上げた。
- 室内では常時換気をし、超音波噴霧器、ストリーマー空気清浄機を使用した。
- 児童の「健康カード」を作成し、受け入れ時、昼食やおやつ前、バス乗車前に検温を行い健康状態の把握に努めた。
- 新型コロナウイルスの陽性者が出た際は、緊急お知らせメールで保護者に通知し施設内の消毒を行った。風邪症状の児童は、保護者に連絡して早めのお迎えをお願いした。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の補助制度により、マスクとアルコール消毒液、エプロン、足カバー、手袋、顔認証型AIサーマルカメラを購入し、使用した。

6. 非常災害危険防止の実施状況

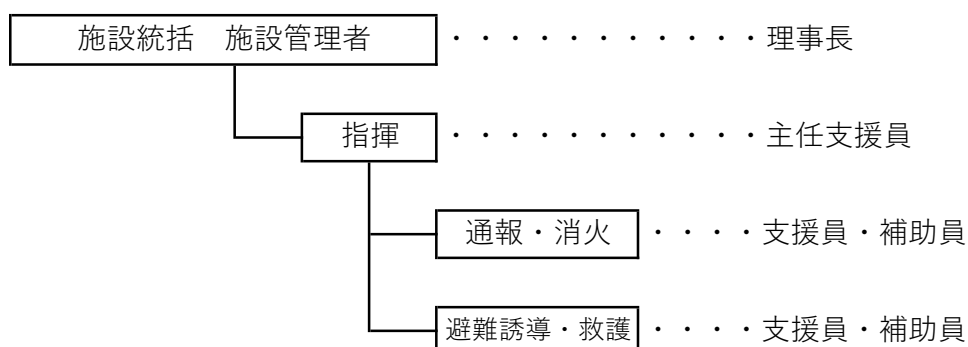
○月に一回、避難訓練か、避難講話を実施。11月に全職員、消火訓練を行った。

○隣接する保育園の避難訓練にも参加し、非常階段を使った避難の仕方、又

お	おさない。
か	かけない。
し	しゃべらない。
も	もどらない。

の避難訓練の基本を学び、回を重ねるごとに迅速に行動できるようになったが、私語が多く真剣に取り組めない時もあった為、避難訓練の大切さを伝えた。

○非常災害に対する職員配置（第一・第二 合同）



7. 子どもや保護者等からの要望・苦情等

○トイレの個室の仕切りが低く同性に覗かれ、嫌な思いをした。

対応・・・ 児童全員に、トイレ使用時のマナーを伝え、覗かないように指導した。

○障がい児の保護者から、内服薬の量や種類が変更になり、様子観察してほしいと要望があった。

対応・・・ 副作用などの情報を保護者と共有し、いつもと違う様子の時は速やかに保護者に電話連絡し、連携を図った。学校の担任からも情報提供をしてもらい、異変にすぐに気が付けるように努めた。

○児童から友達から叩かれたり、意地悪を言われると訴えがあった。

対応・・・ その都度、児童から聞き取りを行い、嫌なことがあれば支援員にすぐに相談するよう伝え、全児童に対しても『人に優しく』接するように指導した。

年間行事実績	
月	行事名
令和4年4月	・歓迎会 22人 ・グラウンド遊び 17、9、16、3、16、3人 ・散歩 3、10人 ・浦頭記念公園 18人 ・巡回図書はまゆう号 22人 ・ECC英語教室 11人 ・お誕生会 18人 ・鯉のぼり作り 8人 ・避難訓練(講話) 9人
令和4年5月	・散歩 14人 ・巡回図書はまゆう号 18人 ・ECC英語教室 12、15人 ・グラウンド遊び 10人 ・お誕生会 15人 ・いむら体育教室 14人 ・芋さし 14人 ・避難訓練(講話) 14人
令和4年6月	・ECC英語教室 12、13人 ・グラウンド遊び 8人 ・いむら体育教室 12人 ・メッセージカード作り 14人 ・巡回図書はまゆう号 18人 ・お誕生会 16人 ・室内ボレー大会 16人 ・避難訓練(講話) 13人
令和4年7月	・いむら体育教室 17人 ・巡回図書はまゆう号 18人 ・お誕生会 15人 ・ECC英語教室 9、9人 ・避難訓練(地震) 10人 ・避難訓練(火災) 4人
令和4年8月	・習字 1、3、2人 ・旧七夕 11人 ・巡回図書はまゆう号 14人 ・ECC英語教室 11、10人 ・風車を作ろう 13人 ・つまようじ工作 19人 ・お誕生会 10人 ・しっぽ取りゲーム 15人 ・おやつ釣りゲーム 12人 ・避難訓練 20人
令和4年9月	・ECC英語教室 9人 ・巡回図書はまゆう号 17人 ・お誕生会 12人 ・いむら体育教室 8人 ・避難訓練(講話) 8人
令和4年10月	・巡回図書はまゆう号 5人 ・ECC英語教室 10、17人 ・お誕生会 12人 ・グラウンド遊び 7人 ・芋ほり 16人 ・散歩 4人 ・いむら体育教室 12人 ・ハロウィン工作 12人 ・大根と春菊の種まきとみずやり 12人 ・避難訓練(講話) 19人
令和4年11月	・巡回図書はまゆう号 16、13人 ・いむら体育教室 12人 ・ECC英語教室 11、9人 ・無線塔見学 2人 ・お誕生会 6人 ・避難訓練(講話) 6人 ・畑の水やり 7人
令和4年12月	・いむら体育教室 13人 ・ECC英語教室 5、8人 ・鯛の浦公園 2人 ・お誕生会 9人 ・クリスマス工作 5人 ・お楽しみ会 15人 ・大掃除 15人 ・巡回図書はまゆう号 13人 ・避難訓練(講話) 13人
令和5年1月	・大根畑 3、4人 ・いむら体育教室 11人 ・ECC英語教室 9、12人 ・お誕生会 9人 ・節分工作 12人 ・節分ごっこ 12人 ・避難訓練(講話) 12人
令和5年2月	・いむら体育教室 15人 ・大根収穫 4人 ・ECC英語教室 9、11人 ・お誕生会 12人 ・巡回図書はまゆう号 15人 ・避難訓練 15人 ・ひなまつり工作 8人
令和5年3月	・西海の丘公園(バスハイク) 11人 ・ECC英語教室 11人 ・いむら体育教室 16人 ・お誕生会 16人 ・巡回図書はまゆう号 18人 ・虚空蔵山へ散歩 12人 ・お別れ会 13人 ・鯛の浦公園 12人 ・畑の草むしり 7人

令和4年度 学童クラブ ぽーしゃな 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	評価理由、今後の改善目標など
環境・体制整備	1	利用定員が施設スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対する施設基準は満たしているが、自由時間の時は少し狭く感じることがある。もう少し、広いスペースがあればと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			規定の職員数を配置している。
	3	施設の設定等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	階段があり、主な活動スペースが二階であることからバリアフリー化は困難である。怪我で松葉杖の児童が階段の乗降が辛そうにしている時があった。今のところ、車椅子の児童はいない。
業務改善	4	業務改善を進めるため目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			職員会議にてPDCAサイクルにのっとり全職員で進めている。
	5	保護者等向けアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケートは行っていないが、保護者からの要望は、その都度対応し、改善できるように努力している。無記名でアンケートを実施すると、より保護者の意見や要望が出やすいのではと思う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評議結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていない。職員会議等で業務改善について定期的に意見を出し合っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		全職員、順次研修を受けているが、オンライン研修などに対応できない職員もいる。対面研修は、できるだけ受けるようにしている。
適切な支援の提供	9	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、学童クラブの計画を作成しているか		○		児童主体の要望と、保護者の要望に差があることがあり、その都度、必要に応じて出来る範囲で対応している。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		日程・行事の変更はその都度声掛けし、伝えている。年間の目標は掲げている。自由参加のレクリエーションを増やして、メリハリのある生活の支援につなげていきたい。
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて学童クラブの計画を作成しているか		○		子どもの状況に応じ、集団活動が苦手な児童には、個別に支援を行っている。
	12	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日の行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			気になる児童の支援内容や、保護者からの伝達は打ち合わせしている。出勤時間が遅い職員には伝達ノートに記入し、確認してもらっている。
	13	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		退社時間が職員によって違うので、打ち合わせは行えないが、気づいた点や連絡事項は伝達ノートを活用して情報の共有に努めている。
	14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		日誌、伝達ノートで行っている。問題点など検証や、改善に努めている。検証したりする機会を増やしていきたいと思う。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	評価理由、今後の改善目標など
関係機関や保護者との連携	15	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか		○		下校時間・学校行事等をFAXはあるが、情報共有とまではいかない。学校からの連絡が遅れる事もあるので必要に応じて確認を行っている。
	16	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			針尾保育園や、ルンビニ保育園と情報共有を図り、よりよい支援につなげている。
	17	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		幼児教育センター等の研修を受けているが、連携しているとは言えない。グレーゾーンの児童が増えているので、関係機関に助言してもらう事は必要ではないかと思う。
	18	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか		○		お迎え時等に保護者と共通理解を図っているが、保護者に対応する機会が少ない職員もいるので、職員会議等で共通理解を持てるようにしている。
保護者への説明責任等	19	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			支援内容や利用者負担については重要事項説明書に記載し、説明会を開催している。
	20	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		お迎え時等に必要に応じて行っている。もっと相談しやすい環境を整えていく必要があり、安心して相談できるようにしていきたい。
	21	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情については、速やかに対応しているつもりだが、設備についての要望等にはすぐに対応できない時がある。人員配置の見直し等で、出来る範囲の対応を行っている。
	22	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			「なかよし」を毎月発行、ホームページを随時更新し、学童の活動内容周知に活用している。
	23	個人情報に十分注意しているか	○			針尾福祉会の個人情報保護の規定を守っている。
	24	学童クラブの行事に地域住民を招待する等地域に開かれた運営を図っているか			○	感染症対策を優先させていた為、地域住民とコミュニケーションは図っていない。
非常時等の対応	25	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルは作成しているが、全ての事項を保護者に通知していない。重要事項説明書で災害時や緊急時の対応を説明し、同意を得ている。
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		児童と一緒に年2回以上の、避難訓練を実施しているが、通報訓練などが不足していて、所在地の住所を言えない職員もいた為、電話の近くに住所を貼るなどの対応をしている。11月に全職員参加の消火訓練を実施した。
	27	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		研修があれば受講し、参加した職員が職員間で周知している。全職員に、コンプライアンス研修が必要ではないかと思う。職員会議等で適切な対応が出来ているのかを話し合っている。
	28	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの調査書に基づく対応は行っているが、医師の指示書はもらっていない。アレルギーのある児童には、弁当を持参してもらったり、おやつも食べられる食品しか提供していない。
	29	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例集は作成していないが、伝達ノートや職員会議で共有している。必要に応じて打ち合わせを行っている。